

令和3年度 第1回学校評議員会 実施報告

日時：令和3年6月21日（月）14:45～

場所：雫石高等学校 会議室

辞令交付

授業見学 5校時（13:45～14:35）

出席者	評議員	藤村 篤	盛岡西消防署雫石分署長
		柿木 典子	雫石町社会福祉協議会事務局長
		藤澤 崇	雫石中学校長
		櫻田 七海	NPO法人まちサポ雫石理事長
	（欠席）	小林 周平	雫石商工会青年部長
	雫石高校	佐々木 佳史	校長
		千葉 靖久	副校長
		舘ヶ沢 寛	事務長
		田沼 貴之	総務主任
		亀山 純史	教務主任
		小松原 清敬	進路指導主事
		八重樫 徹	生徒指導主事
		佐藤 秀明	保健主事

1 開会

2 校長挨拶

3 教育活動の概況説明

- ・令和3年度学校経営計画について
- ・主な教育活動の取組について

4 ご意見・提言

- ・消防演習自体が2年続けて中止となってしまった。来年こそは、ぜひ高校生の皆さんの協力も得て活気あるものにしていきたい。
- ・町内でのボランティア活動でも期待されている。
- ・救命講習や職場体験（インターンシップ）を引き受けたい。
- ・女性消防職員が増加している。目標は全体の5%。女性が寝泊まりできる署の施設も増えている。関心ある生徒がいたらよろしくお願ひしたい。

- ・この春雫石高校を卒業して専門学校に通う学生の家庭へ生活困窮に対する支援を行った。背広を買ってあげたりした。
- ・コロナ禍での生活困窮の相談が増え、支援は4800万円にのぼる。
- ・母子家庭への生活給付金を支援しているが非課税世帯にも給付金を出している。
- ・雫石高校の進路状況とくに就職をみると、多くが管内(県内)にいるのが嬉しい。
- ・中高授業研究や全中3生徒の体験入学など、連携を続けている。いま行っている取り組みの成果がいつ出るのかは不明。しかし、連携は続けたい。
- ・雫石高校にしかできない魅力的な活動がある。
- ・全国調査「このマチにはいいところがある」において岩手県平均は70%だったが、雫石中学生の肯定の回答は100%近い。地元地域を良いと感じている子どもたちが育つ雫石町である。
- ・地域活動をしていると「若い人と何かをするだけで、嬉しい」という方が多い。
- ・県内就職が多いのも特徴。地域の活力になるのでは。
- ・3日間ではない「長期インターンシップ」を企画しており現在8社の承諾を得ている。2年生を対象としているが、場合によっては1年生や3年生も。
- ・地元の素晴らしい職場を知り、就職を考えてもらいたい。

校長より謝辞

5 閉会



学校評議員会



(選択)数学B[2年]



虹色コンパスの様子[1年]



総合的な探究の時間[3年]